



八月十八日 孟蘭盆大施食会



謹賀新年

旧年中のご厚情に感謝申し上げます
安寧な年となりますよう祈念致します

「国内外や天地共に平和が達成されるように」と願った「平成」という時代が幕を閉じた。振り返れば、大規模災害の多発、戦争、環境破壊、原発事故などの人的災害、差別やいじめに多くの出来事は苦難の連続で沢山の希望を失った。

今、新しく「令和」の正月を迎えた。

安倍首相は「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」さらに「厳しい寒さの後に、春の訪れを告げ見事に咲き誇る梅の花のように一人一人の日本人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる。そうした日本でありたい。」と願いを込め「令和」に決定したとお話された。

平成は多事多難だったから助け合いを学んだ。助け合いが美しさだ。誰もが生まれながらに持つ美しい心を大切にすれば、きっと令和の花が開くだろう。

住職 清涼晃輝

令和二年 年回表

一周忌	平成三十一年
三回忌	平成三十年
七回忌	平成二十六年
十三回忌	平成二十年
十七回忌	平成十六年
二十三回忌	平成十年
二十五回忌	平成八年
二十七回忌	平成六年
三十三回忌	昭和六十三年
三十七回忌	昭和五十九年
四十三回忌	昭和五十三年
四十七回忌	昭和四十九年
五十回忌	昭和四十六年
百回忌	大正十年
今があるのは ご先祖様のお陰	

仏の智慧に学ぶ

にちにちこれこうじつ
日々是好日

うんもんこうろく
(雲門広録)

雲門垂語云。十五日已前不問汝、十五日已後道将一句来。自代云。日々是好日。

〈訳〉雲門禪師は、弟子たちに「これまでの十五日のことは問わないが、これらの十五日をどのようにするか一言で述べてみよ。」と問う。しかし弟子達が誰も答えなかったため、自らが「日々是好日」と答えた。

今日はいよい日だ。しかし、とてもよい日とは言えない日があるのが人生だろう。晴れがよいのか。雨がよいのか。曇りがよいのか。自分の都合や損得ではなく、その日をそのままに受け入れること。絶望するような日であっても、善い悪いではなく、その日を精一杯生きることが、日々是好日というのではないだろうか。掛け替えのない今日を大切に生きよう。

澤ちゃんの仏教

仏事Q & A



お坊さんは何と呼べばよい？

曹洞宗では、住職（寺院の代表者）は「方丈（ほうじょう）様」や「ご住職（じゅうしょく）様」。先代住職は「東堂（とうどう）様」と呼びます。寺院名の「○寺様」でもよいでしょう。住職を問わない言い方では「和尚（おしょう）様」や僧名で「○○さん」。親しい関係ならば和尚さんを略して「おっさん」でもよいでしょう。

天台宗では「和尚（かしよう）様」真言宗では「和尚（わじよう）様」浄土宗では「和尚（おしょう）様」浄土真宗では「ご院家（ごいんげ）様」日蓮宗では「お上人（おしょうにん）様」臨済宗は曹洞宗と同様です。この他にも沢山呼び方があり、宗派、役職、僧階などで違います。一般的に宗派を問わず呼べるのは「ご住職（じゅうしょく）様」や「お寺様」などがよいでしょう。

なむなむのんのんさま 「子は宝」うちのお宝を紹介



故・澤田幸雄 様 90 才（中北上山根）満中陰法要（11 月）に曾孫たちが集まりました。曾おじいちゃん、安らかにね…。

右から

澤田 ゆりちゃん（一才）
澤田 りんちゃん（四才）
澤田 晴翔（はると）くん（二才）
澤田 柚希（ゆずき）くん（五才）
澤田 晃弥（こうや）くん（六ヶ月）

檀信徒を訪ねて

やすだのぶこ

保田延子さん（真庭市久世）を訪ねました。【RSKラジオ】毎週日曜日午前六時十分～十五分「今日のこころ 私のこころ」昨年十一月三日に放送された内容を紹介します。

「温かい座布団」

清涼晃輝



お檀家である延子さんのお宅へ、法要に伺った時の事です。延子さんは高齢の女性で、夫を亡くししばらく寂しそうでいらしたので、その後どんな様子か気になりお訪ねしました。すると、やはりどこかしら寂しそうでした。

法要が終わり、延子さんは私に「これ、貰ってくれませんか？」とおっしゃるのです。そこには、パッチワークのティッシュケースや、壁掛け、手編みの靴下や、コースターなど、沢山の手作りの品々がありました。それらの品々を、延子さんはお檀家さんにあげてほしいとおっしゃ

るのです。私が「嬉しいですよ」と言うと、延子さんは、にっこり微笑んでくださいました。その後、延子さんの手作りの品々をお檀家さんへお渡しすると、みなさん「いいんですか。綺麗ですね、嬉しい。」と、とても喜んで持って帰られました。

ある朝、お勤めを始めた時のことです。何かの拍子に「あっ！これは！延子さんの座布団だ。」と直感で思いました。いつも本堂で坐っている私の座布団をあらためてよく見ると、延子さんのパッチワークにそっくりなのです。確認すると、やはり延子さんから頂戴した座布団でした。毎日何気なく使っていたものが、延子さんから頂いたものと知った途端、その座布団のパッチワークにこめられた一针一針の思いを感じ、座布団の温かさがいつそう身にしみました。

延子さんは、夫を亡くした寂しさがあるからこそ、人に優しく出来るのだと思いました。あれから八年、延子さんは今も年二回、沢山の手作り品を用意して下さいます。作り与える喜び、頂き受ける喜び、両者を繋げる喜び、それを感じた時、人は心に温かさを感じ、物を大事する温かい心が宿るのだと教わりました。

住職のつぶやき

▼「少林寺せんべい」終了。長年お世話になっていた〈山本製菓〉さんが閉店。残念。最後の少林寺せんべいを昨夏にお配り致しました。幼少期より慣れ親しんだ味が食べられないと思うと寂しい。檀信徒の皆様にも愛され「いつものせんべいありますか？」とよく聞かれた。「新・少林寺せんべい」にご期待を！

▼少林寺に「白蟻発見！」私達が生きていくように、床下で生きていく。沢山ご供養させて頂きました。「脚下照顧（きやつかしようこ）」という禅語は、足を照らし整えるとの意味。見えない所へも意識を持つ大切さを学んだ。だが、一番驚いたのは、値引き額だった。感謝。▼「鳴く猫は鼠を捕らぬ」という。人も口先だけというのはよくある。独楽鼠のように自分の役目を果し働くだけ。働くことは、やり甲斐で喜びとなる。でも、まあ、口先だけでも元氣ならよいかな。▼四才になる娘に娘が出来た。おんぶをして乳を飲ませている。私はお爺ちゃん。妻はお婆ちゃん。おままごとは楽しい。

孟蘭盆大施食会

八月十八日、孟蘭盆大施食会を約七十名の檀信徒の参列を頂きご供養を致しました。金竜寺（矢掛町）祐川勝善ご住職によるご法話を一部ご紹介致します。



皆さんに質問をしてみたいと思います。「みなさんは、今、幸せですか？」私は幸せだ！という人は手を挙げて

みて下さい。

皆さんの幸せの基準って何でしょう？ 地位、名誉、お金、家族、健康…色々あるかと思いますが。ちなみに私は、地位も名誉もお金もあり有りません。恥ずかしいながら結婚も二回しました。それでも、今、私はとても幸せです。それは何ですか？と言いますと、ちょっと怖いけど元気で明るい奥さんと、三才になる可愛い娘に囲まれて楽しく過ごしていることもあるかと思いますが、何より、自分に正直に日々を過ごしていることだと思います。

私はかつて、あれこれ思い悩むタイプだったのですが、自分のことがキライでしよがなかつたですね。それでも周りの友人や先輩たちのお陰で「今を全力で楽しもう」と思うようになってから、あまり思い悩むことが無くなりました。常に「せっかくだから」という思いで過ごしております。「せっかく精神」それでも奥さんからは「あんたはのんきで幸せそうやな」と鼻で笑われますが、考える時はしつかり考えて、いざやる時は一生懸命ただやる。という事を心がけております。

幸せの基準は「自分のあり方」ではないでしょうか？ 自分の生活を調べて、日々を丁寧に正直に暮らす。この「自分のあり方を一番の生きがいにする」という考え方は、仏道修行（仏様の教えにかかった生活）において基本的な考え方なのです。大本山永平寺を開かれました道元禅師様は「学道用心集」という書物の中で、仏道修行の用心すべきことを丁寧に説いておられます。

「正しい教えを、見た、聞いた、というだけでは、何の功德もなく何の役にも立たない。見たこと、聞いたことを、実

際にしっかりと実行修行していくことが大事である。」「修行するという事は、悟りそのものであり、その悟りは自分の外側から来るものではなく、自分の内側にちゃんと有るものである」と説かれています。

私はこの教えを聞いて、お釈迦様のお言葉を思い出しました。お釈迦さまが、自らの死にのぞんで、お弟子たちに教え説かれた涅槃經の一説です。「自灯明（じとうみょう）、法灯明（ほうとうみょう）」「自らを灯火として生きなさい。そして法（教え）を灯火として生きなさい。」お釈迦様はこう説かれました。「私が死んだ後の拠り所は二つある。一つはお前たち自身であり、もう一つは私の教えである。」

つまり、お釈迦様の教えをたよりに、自分自身でしっかりと修行して進んでいきなさい。と言が残されたのです。だから、仏教は「自分で修行する宗教」なのです。「正しい教え」と「実行修行」この二つがそろって初めて、お釈迦様の教え、仏教の教えは、実を結ぶのです。

禅道場体験

八月二十二日、第八回禅道場体験入門者四十七名、スタッフ保護者二十九名、総勢七十六名で開催。読経・坐禅・写経・写仏・法話・食事・清掃等を通して「ありがとう」をテーマに一日修行致しました。

今回はへにいみ木のおもちゃの会&わくわく科学ランド・藤本忠男氏他三名と「日本マルチコプター協会・上高寛之氏によるお楽しみ会は、様々な木製おもちゃに科学実験、ドローン操縦などでした。体験した子供達の楽しそうな笑顔と遊びを通して学ぶ真剣な顔がとても印象的でした。

主なスタッフ紹介（敬称略）山田良天（西福寺）・松永俊彦（西来寺）・高宮義昭（大林寺）・鷲山晃道（大椿寺）・福田光人（養命寺）・祐川勝善（金竜寺）・岡部広心（景福寺）・田丸ふじ江・小林真佐子・政安由紀子・三船啓子・高柳裕美子・牧原孝行・國米美喜・小林正佳・日笠かおり・松尾泰成、皆様ご協力ありがとうございました。



御詠歌

六月二十六日、善福寺（真庭市古見）で【梅花流特派講習会】が開催。講師は東光寺（佐賀県）丸田祥寛ご住職にご指導頂き約三十名が一日研修致しました。少林寺から九名が参加。

十月十六日、高梁文化交流館にて【梅花流岡山県奉詠大会】が開催。講習では、明元寺（島根県）森山祐光ご住職に御詠歌の所作やお唱えする心構えなどをご指導頂きました。笑いありの講習で、始終和やかな時間でした。少林寺から四名が参加。



御詠歌 講員募集

毎月2回

1回2時間（休憩有）1,500円

講師 源福寺住職 小谷典尚 先生

特派布教講習会

十月一日、瑞景寺（真庭市中河内）で【特派布教講習会・人権学習・六教区護持会総会】が開催。約五十名が研修し、少林寺から政安広規氏・田丸史氏・住職が参加。

講師の永昌寺（岩手県）海野義範ご住職が「私達の心の中で色々なものが織り混ざっています。これを水の中に土を入れて混ぜた状態と表現します。水の中に土を入れて混ぜるとどうなりますか？茶色く濁ります。それをコップに入れて、トンと黙って置いておきます。三十分、或いは一時間すると、そのかき混ぜていた土は、すーっと下に沈みまして、上積みの所は元の透明な水に戻ってまいります。これをまたかき混ぜますと、また茶色く濁ってまいります。これが私達の心の中ですよ。喜びも、悲しみも、苦しみも、無くなってしまうことはないのですけれど、それを沈めることは出来ませんよ。私達の心の中も時に、黙って坐って静かに呼吸をすることで心安らいでまいりますよ。」と法話されました。

檀信徒研修会

十一月十九日「まなび広場にいみ」で【檀信徒地方研修会並びに人権学習会】が開催。約六百名が参加し、少林寺から片山勇氏・高柳泰雄氏・政安広規氏・田丸史氏・住職が参加。

講師の龍徳寺（福島県）久間泰弘ご住職が「被災地の現状と福島の子どもたち」と題して「子どもたちにとって、最も大事なことは、落ち着いて、穏やかに、話しかけて、優しく対話をして下さい。子どもたちの状況について子ども自身の考えを聞けるようにしていきたいですね。小さい子どもたちだと、上からギューと行くとビックリしますね。小学生くらいだと近くに行ったら、膝を着いて、子どもにわかる言葉や説明をして、自分はあるの何か力になれるかもしれない。名前を覚えてくれる？お母さんはどこにいるの？今お腹すいてる？怪我してないかな？など順番を立てて、落ち着いて穏やかに優しく聞いてみて下さい。名前を言って自己紹介し支援出来ることを伝えます。」とお話し頂きました。

特別寄付

■参道拡幅工事の土地無償提供

小福田 悟 殿

高柳 繁 殿

高柳 正昭 殿

■参道拡幅工事の一部登記費用など

藤本 和助 殿

■久宗 正和 殿

絵 尾島石山人 作



婦人会

■清掃活動

八月十七日 坪井下地区

十二月二十一日 中北下地区

■接客係 孟蘭盆大施食会

八月十八日 三船啓子 殿

太田和美 殿

訃報

令和元年八月十四日(月暦七月十四日)

〈志賀勝〉師が急性骨髄性白血病により七十一才でお月様へ旅立たれました。

故・志賀勝先生には、【少林寺たより

澤龍】一号〜十五号(平成二十四年〜三十一年)七年间【お月さま】で執筆頂きました。また、平成二十六年夏、禅道場体験で子供達へ講演。平成三十年春、総供養会で檀信徒へ講演。二度、少林寺へお越し頂きました。大変お世話になりました。心よりご冥福をお祈り致します。

お知らせ

■英語教室の閉室

講師・山本明德先生のご都合により英語教室を終了致しました。約二年半、毎週、教材費と交通費程度の授業料で、世界で活躍する人材を育てるという目標で熱心に子供たちへご指導頂きました。誠にありがとうございました。

■新年のご挨拶

本紙をもって賀状と致します
また服喪中の方へご挨拶と致します

お話し聞きます

悩んでいる方、落ち込んでいる方、寂しさを感じている方、つらい方、私で宜しければ、お話し聞かせて頂けませんか。また、人生相談、仏事相談もご遠慮なく。

電話 0868(57)2303

電話 080(6351)9686

メール info@shorinzenji.com

行事予定

覚禅会

毎月第二土曜日

九時〇〇分 坐禅・行茶
十時〇〇分 写経

〈一月～六月予定〉

一月十一日 二月八日 三月十四日
四月十一日 五月九日 六月十三日

- ・参加費無料。
- ・坐禅と写経の二部制で一方のみ参加も可能。
- ・足の不自由な方は、椅子に座り足を組まず出来ます。
- ・写経は椅子と机に道具があります。使い慣れた道具があれば持参下さい。
- ・檀家、年齢性別は問いません。
- ・どなた様もお気軽にお越し下さい。
- ・個別の日程は要相談。個人・団体など出張で坐禅会・写経会を致します。
- ・急な日程変更もありますので事前に、ご確認頂ければ幸いです。

修正会

元日～三日（随時受付）

厄払いなど新年のご祈禱します

婦人会清掃活動

三月十五日（日）坪井上地区

総供養会

三月二十日（金）十時
春彼岸 先祖供養会

護持会総会

四月下旬

授戒会

日程

五月十三日（水）～十五日（金）

場所

岡山県小田郡矢掛町 洞松寺

戒師

大本山永平寺貫首 福山諦法 禅師

減多にない三日間の有り難い修行で、少林寺住職も一緒に修行致します。詳細は別紙参照下さい。

曹洞宗 澤龍山 少林寺

〒709-4606 岡山県津山市中北上 1150

●電話 0868-57-2303 ●住職電話 080-6351-9686

●メール info@shorinzenji.com

●ホームページ <http://www.shorinzenji.com>

●曹洞宗澤龍山少林寺フェイスブック <https://www.facebook.com/shorinzenji>

●晃輝和尚のブログ「覚禅堂」 <http://ameblo.jp/seiryō-koki/>



フェイスブック



ホームページ



ブログ